

Trimble SiteVision 仕様表

ハードウェア	
Trimble Catalyst DA2	
GNSS位置精度	水平:10mm + 1ppm RMS 鉛直:20mm + 1ppm RMS
捕捉可能衛星	GPS、GLONASS、Galileo、QZSS、SBAS、NavIC (IRNSS)、BeiDou、L-Band Satellite Corrections
入力データフォーマット	RTCM 3.0、RTCM 3.1、RTCM 3.2、CMR x
電源	外部入力 (2.0-2.5W)
寸法 / 重量 (アンテナのみ)	直径:128mm、高さ:55mm / 300g
動作温度 / 保管温度 / 防塵防水等級	-20℃~60℃ / -40℃~70℃ / IP65
落下	1.2m (コンクリートへの落下)
ユーザーインターフェース	LED電源、Bluetooth接続状態、電圧低下警告
Trimble HPS2 handle (アンテナ部は、Trimble Catalyst DA2を参照ください)	
EDM/AR 位置精度	10m先で、Hz:<20cm RMS Vt:<10cm RMS (使用するデバイスによる)
EDM 距離精度	±3mm
EDM 測距範囲	0.3m~25m 白い壁の場合、100m
バッテリー使用時間	約2~2.5時間
寸法 / 重量	直径:135mm、高さ:285mm / 620g(バッテリー含)
動作温度 / 保管温度 / 湿度	-10℃~40℃ / -20℃~70℃ / 95%(結露なし)
防塵防水等級	IP65
落下	1.2m (コンクリートへの落下)
ソフトウェア	
Trimble SiteVision	
モデル配置	地図データ参照自動、計測位置 (cm)、手動、QRコード
サポートファイルフォーマット	SKP、VCL、TTM、IFC、LandXML、DWG、SHP、GDB、PNG
入出力データフォーマット	RTCM 3.0、RTCM 3.1、RTCM 3.2、CMR x
モデルデータの通信	携帯電話通信もしくはWi-Fi
GNSS補正データの通信	携帯電話通信もしくはWi-Fi、リモート操作用のLバンド衛星
データ解釈	ユーザー定義のルールと3Dシンボル
測定および記録機能	写真、ToDo、タスク、ポイント、グレード、距離、切土盛土、PDF表示、簡易スキャン ※1
測定方法	GNSS測定、LiDAR測定もしくはカメラ測定、ARモデル測定、レーザー距離計での測定 (Handy2)
測定モード	モデルポイントからモデルポイントへ、地上点からモデル点へ、地上点から地上点
最低動作環境	・iOS 13以降、iPhone® 6以降、またはiPad® (2017)以降を搭載したデバイスで、Apple ARKitテクノロジーでサポートされているもの ・Android™ オペレーティングシステムバージョン9.0以降を搭載し、Google ARテクノロジーでサポートされているデバイス

※iPhone/iPad (iPhone Pro/iPad Pro) のLiDAR機能を使用するとEDMの代わりに距離測定が行えます。
 ※一つのライセンスをお持ちであれば複数のモバイル端末で共用できますが、同時使用はできません。
 ※1 簡易スキャン機能を使用するには、LiDARが搭載されたiPhone / iPad (iPhone Pro / iPad Pro) が必要です。



お問い合わせ

株式会社 ニコン・トリムブル
<http://www.nikon-trimble.co.jp/>
 ジオスペーシャル事業部
 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2-16-2 テクノポート大樹生命ビル
 03-5710-2596

※掲載されている各値は、環境により変動します。
 ※Trimble及び地球儀と三角のロゴは、米国Trimble社の登録商標です。
 ※Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
 ※Google、Google Playおよびその他のマークはGoogle LLCの商標です。
 ※その他、記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標及び商標です。
 ※ご注意：本カタログに掲載した製品及び製品の技術（ソフトウェアを含む）は、「外国為替及び外国貿易法」等に定める規制貨物等（技術を含む）に該当します。輸出する場合には政府許可取得等適正な手続きをお取り下さい。

2CJ-H8BT-2(2410-03)YY

トリムブル サイトビジョン

Trimble SiteVision

高精度屋外AR(拡張現実)システム



2024年11月版



屋外型拡張現実システム

Trimble SiteVisionとは

Trimbleの高性能GNSSアンテナとARテクノロジーを組み合わせた新しいAR技術 (Augmented Reality System) で構築された、世界初の屋外型拡張現実システムです。

未来や過去を視える化

新設の道路や構造物、既存の地下埋設物、完成時の景観、または過去の景観などを現実空間に過去や未来の設計データを360°重ねて表示し、ビジュアルに確認することができます。もう二次元の図面や地形図などから完成図を想像する必要はありません。



作業効率アップ支援ツール

Trimble SiteVisionは、埋もれた杭の探索をはじめ、道路設計工事の日々の進捗確認などが効率的に行うための支援ツールとしてご使用いただけます。また建物建設で設計建物が現場に影響を与えないか、住民立ち合い説明などをスムーズに行うためのツールとしてもご使用いただけます。



LiDAR スキャン機能搭載

簡易スキャンが簡単にできる

LiDAR 機能が搭載されたモバイルデバイスを使用すると、三次元点群を取得することができます。LiDAR コマンドを起動して構造物などにかざすだけで、測量の専門知識がなくても簡単に点群が取得できます。

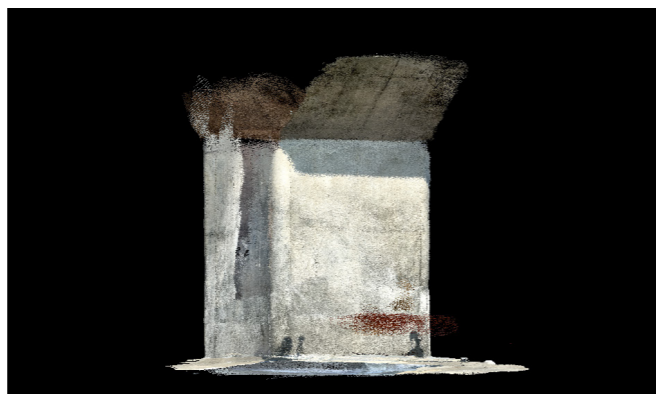
高精度位置情報を持った点群取得

簡易スキャン機能で取得した点群は、GNSSで取得した高精度位置情報と合成しているので、世界測地系座標に基づいた高精度な三次元点群データとなります。



手軽に点群データを共有

取得した点群データはクラウドベースのTrimble Connectにすぐにアップロードできるので、現場とオフィス間で効率的なデータ共有が可能になります。後処理の合成処理、座標変換などを行う必要が無く、手間も時間も省くことができます。



用途に合わせたハードウェア

HANDY or POLE?

現場やお好みに合わせて Handy2 モデル もしくは Pole モデルを選択できます。Handy2 モデルは専用筐体で軽量です。またレーザー距離計を搭載していますので危険な場所へ立ち入らなくても計測可能です。Pole モデルはお好みの長さの GNSS ポールに GNSS アンテナを装着でき、モバイルデバイスを装着します。現場に合わせてスマートフォン、タブレットどちらでも使用できる設計となっています。

Trimble SiteVision Handy2



Trimble Catalyst DA2
高品質GNSS信号と衛星補正情報をAndroidデバイスに転送できるデジタルアンテナ

mobile device

Androidスマートフォンもしくは、iPhone、iPadでSiteVisionアプリケーションを使用して位置を計算するためのホストプラットフォームとコンピューティングパワーを提供 (モバイルデバイスは販売セットには含まれません)



Trimble SiteVision Pole (Handy タイプ)



Trimble SiteVision Pole (Rover タイプ)

様々な利用シーン

遠隔臨場

Web 会議システムと連携することで、会議室のテレビやパソコンの画面等に SiteVision の画面がそのまま映し出されます。立ち入りの難しい場所の説明も可能となり、臨場感のある現場説明が行えます。また参加者の移動時間や移動経費なども削減が可能です。



現場の状況を会議室へ転送

現場打ち合わせ

作業者と責任者の打ち合わせには AR で表示された 3D モデルと実際の現場を重ね合わせることで、問題点に対する調整や仕上がり具合の確認に活用することができます。画面で 3D モデルを確認できるので現場での打ち合わせ時間が短縮され、作業効率の向上も期待できます。

